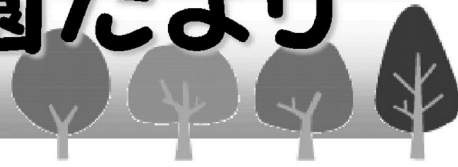


旭川敬老園だより



第84号

岡山市北区祇園866
特別養護老人ホーム
旭川敬老園
発行責任者 森 繁樹
電話 (086) 275-4349



おでん会食のひととき



ショートステイ通信



今年もショートステイご利用者様にお手伝いしていただきながら、渋柿を用いて干し柿作りを行いました。包丁を使い大量の柿を手際よく剥き、ひもにくくりつけてくださいました。柿の吊るし方や種類を教えてもらいながら「昔ほどの家もよけ作って食べようた」お菓子がない時代じゃったから甘くておいしかった」など昔の出来事を話し、大笑いを楽しんでいました。

2~3月の●主な行事予定●

2月10日

らーめん会食

3月9日

ひなまつり会食

※その他、月に2回ずつ書道・華道・手芸クラブ・音楽療法・絵画クラブを開催しております。映画の上映は毎週金曜日です。詳しいクラブ活動の日程・活動内容等につきましては、お気軽に職員へお問い合わせください。

家族会大掃除

十二月十六日、旭川敬老園家族会主催による年末大掃除が行われました。年末のお忙しい時期にもかかわらず、五十九名のご家族の皆様にご参加いただきました。各ご家族様居室を中心にフロアリングの掃除から、シンクなど水回りの掃除をしていただきました。今回ご家族の参加が難しかった方のお部屋は職員で掃除をさせていただきました。お陰様で、入居者の皆様も気持ちよく新年を迎えられたことと思います。ご参加ご協力ありがとうございました。

医療福祉学会

平成二十七年十二月十日、十一日に第三十三回旭川荘医療福祉学会が開催され、旭川敬老園からは次の三題を発表しました。発表内容につきましては、後日、旭川敬老園のホームページにも掲載予定です。是非ご覧ください。

- ◆スライドシートの効果検証と普及の検討
- ◆高齢者の生活史理解の重要性について
- ◆「老い」とは？
- ◆認知症のない要介護高齢者へのインタビューから

茶話会

お話好きの方々に、階を越えて集まっていたいただき、女子会を開いています。毎回、五、六人の方が参加しています。日頃なかなか顔を合わせることのない方々ですが、熱いお茶とお菓子を食べながら、「昔の岡山市は〇〇だった。」「お花見は△△に行った。」「〇〇が美味しかった。」など話に花が咲き、終了後は「楽しかった。また誘ってください。」と大好評です。

ご入居者の状況

(二月末日現在)

〔在籍数〕 一一〇名
 男性二十七名
 女性八十三名
 〔平均年齢〕 八十六歳四カ月
 〔平均在園日数〕 四年八カ月

編集後記

今号では、昨年九月以降の園での行事や出来事と、新年ということと今年の年男・年女の入居者様と職員をご紹介しました。昨年もご家族様、地域の方、ボランティアの方など多くの方に支えられた一年であったと編集しながら実感します。今年も、旭川敬老園だよりを通して、入居者様の笑顔をたくさんお伝えできる一年にしていきたいと思います。



百歳超の人たちが七人に

本格的な超高齢社会を迎えて

園長 森 繁樹

平成二十七(二〇一五)年九月段階でわが国の六十五歳以上人口の占める割合は二六・七％に達したとのこと。つまり、国民の四人に一人以上が六十五歳以上だということ。過去の数字を紐解いてみると、一〇％を超えたのがちょうど三十年前の一九八五年、二〇％を超えたのが十年前の二〇〇五年のことでした。こうした数字を見てみると、改めてこの二十年、三十年でわが国の社会が大きく変化してきていることがわかります。高齢者の増加と共に大きな変化だと思ふことは、長生きする人も増えていることです。過去の旭川敬老園の利用者状況を整理してみたところ、十年前の平成七年度には百歳を超える者はなく、九十五歳以上の者が五名となっていました。十年前の平成十七年度になると百歳の者が四名、九十五歳から九十九歳までの人は三名の計七名となっており、ところが、五年前の平成二十二年度では百歳以上の者はいない代わりに九十五歳から九十九歳までの者が計十五名にまで増えました。そして、今年一月の段階では百歳以上が七名、九十五歳から九十九歳までの者が六名で計十三名、九十歳以上を見れば、なんと百十人中四十名となっています。今や、九十歳まで生きることが珍しいことではなくなりました。

とはいえ、人間も自然界に生きる生き物である限り、老いに伴う心身機能の低下や「死」という現実を避けられませんが、統計的にも、八十五歳を過ぎれば三人に一人、九十歳を超えれば二人に一人は認知症になるといわれます。本来、長生きは幸せなことではありますが、やはりそこにはそれなりの新しい課題も生じて来ています。

ここ数年で、わが国の高齢化が急速に進展した理由には、いわゆる団塊の世代が六十五歳を超えたという背景があります。そのため今後、六十五歳以上人口の伸びそのものは一段落していきませんが、その先には要介護の発生率が高い七十五歳以上人口が急速に増えていく現実が控えています。これからの超高齢社会は、どんな方向に向うのでしょうか。

新年早々、重たい話だと感じられるかもしれませんが、これが日本のこれから迎える超高齢社会の現実です。これからの時代、日本人一人ひとりが自分の「老い」やその先にある「死」の問題を考え、また元気なうちから必要な「心の準備」をしていくことが求められているように思います。

敬老の日

平成27年9月19日、敬老の日行事を行いました。
 午前の式典では、17名の方がお祝いを受けられました。皆さん、それぞれの色のちゃんちゃんこを着られ、素敵な姿を見せて下さいました。午後からは模擬店があり、ケーキやアイス、和菓子などご家族や他入居者の皆さんと一緒に食べられました。また、ボランティアの皆さんによる傘踊り、入居者によるハンドベルの演奏があり、皆さん、楽しんでおられる様子が伺えました。素敵な出し物をありがとうございました。
 また、祝電、祝品をいただきましてありがとうございました。



忘年会

平成27年12月16日、入居者忘年会が開催されました。入居者様、ご家族の方々も一緒に鍋を囲まれ、和やかな雰囲気での会食となりました。味も「美味しい」と好評をいただき、皆さんよく召し上がられ足りない食材もあったほどでした。今回は多くのご家族にご参加いただき、入居者の方々もとても良い表情をされていました。また、有志で1階の大野様とお仲間によるバンド演奏もあり、大いに盛り上がりました。ご協力下さいましたカトレア会の皆様、有志でのバンド演奏の皆様、ありがとうございました。



片山梅子様 100歳のお祝い

平成27年12月17日、片山梅子様が百歳のお誕生日を迎えられました。当日は、ご家族・他入居者・職員でお祝いをしました。岡山市からお祝いの品物や、県知事さんからもお手紙が届きました。「おめでとう」の言葉もらった際には、本人より「ありがとう」と何度も言われ、喜んでおられた様子でした。

表彰式の後には、片山様を囲んで皆さんでお茶会を開きました。お話はずみ楽しいひとときとなりました。どうぞこれからも元気で過ごされますことを願っております。



2016年 申年 年男・年女 紹介

72歳



宮本様

84歳



小泉様

96歳



福島様



中津様

年女職員・今年の抱負



森

今年の抱負は何事にも挑戦することです。仕事では利用者さんのより良い生活を考え、自ら行動に移していきたいと思ひます。私生活では今までしたことのないことに挑戦したいと思ひます。日々精進できるよう頑張ります。



今井

昨年は周囲の方々に沢山助けていただき、優しさの身に沁みる1年でした。本年は、皆様の支えに感謝し、公私ともに充実した日々となるよう明るく、何事にもポジティブに取り組んでいきたいと思ひます。



難波

昨年は育児休暇から復帰し、時に悩むこともありましたが、沢山の方に助けられながら過ごすことができました。今年も元気に笑顔で、仕事と家庭の両立を頑張りたいと思ひます。



山室

昨年は皆様に支えていただくことばかりの1年間でした。本年もご入居者の皆様により良い生活を送っていただけるよう、心のこもった丁寧な支援を心掛けたいと思ひます。今後とも宜しくお願ひ致します。

クリスマスプレゼント

平成27年11月19日、入居者の皆様へクリスマスプレゼントを持って、今年も神戸海星女子学院小学校の保護者の方6名にご来園いただきました。今年は、素敵なネックウォーマーとタオル、かわいいメッセージカードを頂きました。入居者の方もプレゼントの包みを開けるとさっそく首に着けられ、「あったかいわ〜」と大変喜ばれていました。

寒い季節に心温まるプレゼントを頂き、大変感謝しています。ありがとうございました。

